別添１（１）

指定管理者による管理運営の実施状況報告

１　施　　設　　名：　中央公園

２　指 定 管 理 者 名：　岡﨑建工株式会社

３　指　定　期　間：　令和５年４月１日～令和10年３月31日

４　施 設 設 置 目 的：　都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること。

５　管理運営についての点検結果（令和７年４月１日～令和８年３月31日）

（１）点　検　方　法：　事業報告書、現地確認、ヒアリング等をもとに指定管理者の管理運営実施状況の点検を行った。

（２）点　検　結　果：　別添のとおり

別添１（２）

（中央公園）

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	・豊かな自然を守り、安全・安心な快適空間を提供するなどの取組を行う。	・山や池を配置した自然豊かな公園であり、自然観察や休養等幅広く利用される公園として、植栽管理を適切に行い、安全・安心なサービスを提供している。
	・高齢者や障がいのある方、女性やこどもへの配慮ある巡回を行う。	・高齢者・女性・障がいのある方の視点に立って巡回を行った結果、10か所以上の園路の段差解消や、死角となる樹木の剪定を実施し、利用者の安全確保に努めた。また、遊具等の危険箇所を早期に発見し、状況に応じて使用禁止措置を講じる等、対応した。
	・居心地の良い公園のために迷惑行為への迅速な対応を行う。	・犬のフンの放置が多数あったため、防犯カメラの設置及び警告文の掲示を行うと共に、ポケットティッシュの配布や主要箇所への看板等を設置し、啓発活動を実施した。
②施設利用及びサービス向上	・地域住民と協働で本施設を起点とする様々なイベントを開催し、情報収集を行うことで、周辺地域の魅力を発信する。	・花の丘では、花壇の有志によるボランティアと協働し、園内の花壇管理等を行って来園者を楽しませている。 ・近隣の複数の市民センターと毎月情報交換を行い、共同で実施するイベントを思案している。令和７年度は、こどもたちに公園を散策してもらうことで、公園利用促進の機会を作った。
	・芸術系自主事業を開催する。	・水彩スケッチ教室や折り紙教室等を継続して実施している。年末にはお正月飾り教室を開催し、自主事業を通じて公園の賑わいづくりに取り組んでいる。
	・ワンヘルスフェスタ、さくらまつりの大規模ベント開催	・ワンヘルスの理念の普及啓発のために、県が主催するワンヘルスフェスタの開催に積極的に協力した。 ・野球場利用者数：8,128人 （対前年度比78.5%、対Ｈ30年度比85.4%）

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	・野球場利用に関して、認知度向上を行う。	・野球場認知度向上のため、幼児を対象とした野球教室や、大人からこどもまで遊べる大会、親子で参加できる体験会を実施した。 ・野球場利用料金収入実績：419千円 （対前年度比93.6%、対Ｈ30年度比143.5%、対Ｈ17年度比108.5%） ・委託料実績額：61,490千円 （対前年度比102.7%、対Ｈ30年度比114.0%、対Ｈ17年度比87.5%）
④職員確保方策及び健全な財政基盤	・責任者には経験・資格等のある者を配置する。	・１級造園施工管理技士、公園管理運営士の資格を有している、経験豊富な人材を配置している。
⑤施設管理上の個別事項	・不審物の確認、枝や葉の歩行面への張り出し、地表面の不陸等について適宜確認を行い、利用者の安全確保に努める。	・毎日の園内巡回、支障枝の除去や園路の不陸の補修、救護訓練、防災避難訓練を引き続き行っている。

②点検結果

□ Ａ＋ （提案内容を上回った） □ Ａ （提案内容をやや上回った） ○ Ｂ （概ね提案内容どおり） □ Ｃ （提案内容をやや下回った） □ Ｄ （提案内容を下回った）	【総合コメント】 金比羅池や花の丘を中心とした県民憩いの場の公園として、植栽管理や園内清掃等を適切に行っている。 花の丘では、花壇の有志によるボランティアと協働し、園内の花壇管理等を行って来園者を楽しませている。 自主事業として、水彩スケッチ教室や折り紙教室等を継続して実施している。加えて、年末にはお正月飾り教室を開催する等、これらの事業を通じて公園の賑わいづくりに取り組んでいる。 また、ワンヘルスの理念の普及啓発のために、県が主催するワンヘルスフェスタの開催に積極的に協力した。 以上のように、概ね提案内容どおり、適切な管理運営が行われている。